

藤間秋男の 100年企業創りレポート

- 今月の経営テーマ “新たな心で仕事に向き合おう!”
- 新たな心で仕事に向き合うことで次のようなメリットがあります。
- ①初心を思い返すことができます
 - ②自分の仕事の棚卸しができます
 - ③仕事の仕方を見直すことができます
 - ④工夫やアイデアが湧いてきます
 - ⑤やる気が高まります



株式会社コスモ教育出版「理念と経営」カレンダーより

(1) お客様から大変うれしいメールと色紙をいただきました。「TOMAの工場始め皆様のおかげで、10年ぶりに決算富余を支給することが出来ました。本当に感謝いたします」とメールと、お返し、大きな色紙に

- ①おかげ様で大きく成長できました。TOMAの工場のサポートのおかげです。私がやりきれない部分を工場の笑顔がサポートしてくれました。一生志しません。(会社代表)
- ②工場工場!! いつも優しい笑顔で接してくれ、かけつけたい言葉のほっとか癒め言葉で手本にします。
- ③たいが長、お付き合いできる。会社の変化を感じて下っていると、お返し、優しい、眼差しい、見守り頂けたいです。他の方々のお言葉。涙が出るほど、うれしいです。会社の業績が良くなる、癒めくださる。TOMA社員の最高の喜びです。本当にありがとうございます。TOMAの工場は、TOMAの誇りであり、宝です。

(2)挫折の真価 (救う力 - 古園寿人 著 廣済堂出版)

- ①良い経験と悪い経験も味わった人が、わかると、人生の豊かさを。
- ②失敗や挫折のない人生は、豊かではない。人は、人生を豊かしたい。「事ごとく生きて」と願うが、起伏のない、安定した人生は、豊かではない。真の豊かさは、良い経験と悪い経験の落差のことだ。落差を何度か味わってこそ、人生は豊かさを増して行く。行動すること、臆病なことは、知れず、知れず、知れず、行動しなければ、アラスカもアラスカも、一生、セピアの味だ。

(3) 人生・仕事の結果 = 志 × 意 × 能力 (稲盛)

- ①この公式は、平均的な能力しか持たない人間が、偉大なことを成し遂げる方法はないか、という問いに、私が自分の体験を通じ、答えたものである。
- ②能力は、多分に先天的なものである。(0~100)
- ③「意」は、自分の意志で決めたものである。(0~100)
- ④「志」は、人間として生きた姿勢。(100~100)

これらのかけ算となるので、志が25%の人はいくらもアラスカ、能力が普通でも、意と志がアラスカであれば、ほかにも素晴らしい結果を残すことが出来る。

(4) 七十にして心の欲する所に従ふこと、矩(のり)を踰(こ)えず。 (先日100歳を超えてお世に別れた方、伊東田真先生より学んだ「論語」の一句)

孔子様の言葉

- ①15で学を志し、30に於て一つの信念を以てせよと云った。
- ②40に於て物の道理がわかるようになった。
- ③50に於て、自分が天の命を授けられたと悟り、何事にも力をつくす、尊い命を授けられたと悟った。
- ④60に於て人の言や天の音が、素直に聞けるようになった。
- ⑤70を過ぎると、自分の思うままに行動して、決して道理を踏み外すことがなくなった。

藤間は孔子様とは、違ひ、違ひ、天命を完全に受けとらず、素直になんていません。しかし、この力を学び、実行し、極め、続け、遂に「天命を知り、素直になり、最後は自分の思うままに行動して、決して道理を踏み外さず、やる人間になりたい」というための努力を続けます。

(5) 松下幸之助が示した 重役心構え64条 (親之)

- ①会長 社長は、真に一本となり、会社業務全般を統御していくこと。会長、社長は、重要問題について

